2026年11月6日

各　位

会 社 名　株式会社昭文社ホールディングス
代表者名　代表取締役社長　黒田　茂夫
(コード番号　9475　東証スタンダード)
問合せ先　取締役管理本部長 加藤 弘之
T　E　L　０３－３５５６－８１７１

2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期第２四半期（中間期）（2026年４月１日～2026年９月30日）の連結業績予想値と本日公表の実績値において差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期（中間期）における連結業績予想と実績値との差異

（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,170	△220	△150	△270	△14.90
実績値(B)	3,112	△173	△91	△148	△8.26
増減額(B -A)	△58	47	59	121	
増減率(%)	△1.8	－	－	－	
(ご参考)前期第２四半期実績(2026年３月期中間期)	2,844	△64	△3	△52	△2.87

２．差異が生じた理由

当中間連結会計期間におきましては、2026年５月15日に公表いたしました中間連結会計期間の業績予想に対し、売上高は予想を下回る結果となりました。これは主として、一部の出版計画を第３四半期以降へ期ずれさせたこと等によるものです。

一方、損益面におきましては、出版計画の後ろ倒しに伴う費用の期ずれに加え、継続的なDX活用やコスト抑制策が奏功したこと、ならびに販売費及び一般管理費についても上期に見込んでいた一部費用の発生・執行が遅れていることなどにより、利益面を押し上げる要因となりました。

この結果、前回の予想値に対し、営業利益が47百万円、経常利益が59百万円、親会社株主に帰属する中間純利益が121百万円、それぞれ改善いたしました。

なお、2027年３月期通期連結業績予想につきましては前回発表より変更ございません。

（注）上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により乖離することもありえますので、ご承知おきください。

以上